

問1 前歯人工歯の脱離の修理について正しいのはどれか。

- a 人工歯接着前に床側の接着面を滑沢に研磨する。
- b 修理の前後がわかるような細工を人工歯に施す必要がある。
- c 人工歯が動かないように頬側のコアを採得する。
- d 審美の調和を図るため脱離以外の人工歯も全て除去しなければならない。

問2 義歯修理の説明として正しいものはどれか。

- a ノンメタルクラスプデンチャーは修理ができない。
- b 金属床義歯の修理では必ずレジン部を全て除去する。
- c オーバーデンチャーの修理は支台措置を必ず交換する。
- d 修理部分の補強のため表面処理を施した金属線を使用する場合がある。

問3 オーバーデンチャーが破折しやすい理由はどれか。

- a 残存歯部分に応力が集中しやすい。
- b 人工歯と床の結合不備が生じやすい。
- c レジン床内の気泡が多くなりやすい。
- d 顎堤吸収により早期に適合不良になりやすい。

問4 破折義歯修理の依頼があった場合の対応として正しいのはどれか。

- a 義歯の細かな凹凸を確認するため必ず素手で触れる。
- b 人工歯が磨耗している場合は必ず新しい人工歯と交換する。
- c 義歯の破折面を削合してはいけない。
- d 義歯からの感染対策としてグローブを着用する。

問5 リラインの目的はどれか。

- a 適合の回復
- b 人工歯の修復
- c 審美性の向上
- d 破折の修復

問6 リラインが必要とされるのはどれか。

- a 咬合高径の低下
- b 人工歯の咬耗
- c 床翼の豊隆の不足
- d 義歯床の不適合

問7 リベースについて正しいのはどれか。

- a 直接法で行う。
- b リラインと比べて作業が容易である。
- c 人工歯以外の義歯床を新しくする。
- d 義歯の粘膜面のみ新しい床用材料と置き換える。

問8 リベースで交換する部位はどれか。

- a 人工歯
- b 義歯床粘膜面
- c 義歯床研磨面
- d 義歯床粘膜面および研磨面

問9 オーバーデンチャーの目的はどれか。

- a 歯髄の保護
- b 義歯破折の防止
- c 歯根膜感覚の保持
- d 支台歯の自浄性の向上

問10 オーバーデンチャーの利点はどれか。

- a 義歯破損を起こしにくい。
- b 歯冠歯根比を改善できる。
- c 歯のう蝕を予防することができる。
- d 歯周疾患を予防することができる。

問11 磁性アタッチメントについての説明はどれか。

- a オーバーデンチャーに適用される。
- b 義歯の維持は機械的嵌合力に依存する。
- c 義歯管理に際し機械的清掃を行ってはいらない。
- d 磁力低下を起こすため1年に1回程度交換が必要である。

問12 コーステレスコープ義歯のコースス角として理想的な角度はどれか。

- a 0°
- b 6°
- c 12°
- d 18°

問13 金属床義歯の特徴はどれか。

- a 異物感が大きい。
- b 強靱でたわみが少ない。
- c 修理やリベースが簡単である。
- d 製作にサベイングを必要としない

問14 金属床義歯のフレームワークに使用する金属はどれか。

- a JIS 第1種銀合金
- b JIS 第2種銀合金
- c タイプ I 金合金
- d 白金加金

問15 フィニッシュラインについて正しい説明はどれか。

- a 粘膜面側を外側フィニッシュラインとよぶ。
- b 内外側フィニッシュラインのずれは1mm 以内にとどめる。
- c レジン部の剥離や破折を防止する目的がある。
- d レジン接着部のサンドブラスト処理が不要となる。

問16 金属床義歯を製作する時に必要な技工操作はどれか。

- a ガイドプレーン形成
- b レストシート形成
- c ポストダムの設定
- d 耐火模型の製作

問17 ノンメタルクラスプデンチャーの説明として正しいものはどれか。

- a 人工歯には保持孔を付与する必要はない。
- b 義歯の構成要素にメタルを使用する場合もある。
- c 修理時には常温重合レジンが有効である。
- d 審美性に優れるが機能性は極端に低い。

問18 ノンメタルクラスプデンチャーの利点はどれか。

- a 装着感がよい。
- b 耐久性に優れる。
- c 修理が容易である。
- d 維持力を調整しやすい。

問19 CAD/CAM システムによる義歯製作について正しいのはどれか。

- a 再製作に手間がかかる。
- b 再現性に乏しい。
- c 遠隔操作が可能である。
- d 部分床義歯には適用されない。

問20 CAD/CAM システムを用いた義歯製作法として考案されているものはどれか。

- a オルタードキャスト法
- b 射出成形法
- c マイニング法
- d 液槽光重合法

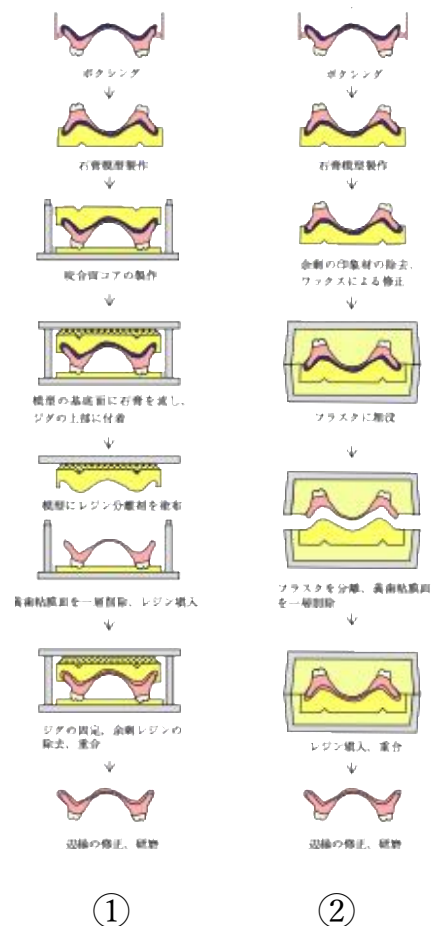
問21 義歯修理時の写真を示す。保持孔について正しいものはどれか。

- a 主に天然歯を義歯に接着する時に行う。
- b 側面に付与された孔は基底面と交通している。**
- c 義歯床との化学的な結合力増大を目的としている。
- d レジン床義歯の修理時には付与してはならない。



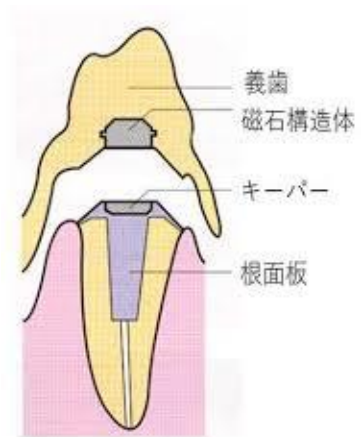
問22 間接法リラインの工程を図に示す。②と比較した①の方法の利点はどれか。

- a 義歯床強度の向上
- b 技工操作時間の短縮**
- c 義歯床接着性の向上
- d リライン面の滑沢化



問23 磁性アタッチメントについて図に示す。説明として正しいのはどれか。

- a 生活歯に適用されている。
- b 歯根膜感覚は失われている。
- c キーパーと根面板はレジンセメントで接着する。
- d 義歯と磁石構造体はレジンセメントで接着する。



問24 2種類の義歯について写真を示す。①と比較した②の義歯の利点はどれか。

- a 熱伝導性が良い。
- b 修理が容易である。
- c リラインが容易である。
- d 審美性に優れる。



①



②

問25 CAD/CAMシステムを用いた義歯製作の写真を示す。この写真の手法として正しいものはどれか。

- a ミリング法
- b 射出成形法
- c マイニング法
- d 液槽光重合法

